

アル・アクサ洪水第608日目：イスラエルがベイルートを空爆 | アンサールッラがテルアビブを攻撃 | ジャバリアで待ち伏せ攻撃

Palestine Chronicle、2025年6月5日、協浜義明訳 *脚注は訳注



イスラエルはガザでまたしても「援助」を装った虐殺を犯した。(Photo: social media, via QNN)

主要事項

*エルサレム・ポスト紙は、軍情報関係者からの情報として、イスラエルは「自由の船団」のマドリーン号の活動家たちに、ガザに近づくなという直接的な警告を発する計画をしている。

*CNNは調査で、ラファの援助物資を待っているパレスチナ人群众にイスラエル軍が発砲したのは事実だと確認した。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降イスラエルがガザ回廊で殺害したパレスチナ人の数は54,510人、負傷者は124,901人となった。その多くは女性と子どもである。

最新情報

6月5日 11:08 pm (パレスチナ時間)

*パレスチナ・クロニクル：今日イスラエル軍はレバノンのベイルートの南郊外の町、ハダト、ハレット・フレイク、ブルジ・アル・バラジネの建物に対する避難勧告を出して直ぐに、ベイルートの南郊外に対して無人機7機と大砲を使った攻撃を行った。

6月5日 10:34 pm

*アル・カッサム旅団：6月1日に我々はジャバリア難民キャンプの東のアル・マブフーフ記念碑近くの東部境界線付近で、複雑な待ち伏せ攻撃を行った。アル・ヤッシン105砲とシュワズ爆発装置を使って敵の装甲兵員輸送車「ナメル」を破壊し、乗組員を死傷させた。増援部隊が来たとき、ハマー・ジープに仕掛けていた爆発物を爆発させ、彼らも死傷させ

た。残ったイスラエル兵たちと戦闘を続けた。負傷兵を運ぼうと飛んできたヤスール・ヘリコプターに機銃を浴びせ、退却させた。

6月5日 10:33 pm

*チャンネル12：イエメンからミサイルが発射され、ベン・グリオン空港の稼働が一時停止された。

*アル・ジャジーラ：ガザ回廊のハマス指導者は、パレスチナ人は世界から見捨てられ、孤独の中で戦っていると言った。エルサレム、アル・アクサ・モスク、パレスチナ全土に陰謀が企てられており、西岸地区の住民は敵の犯罪的行為と入植事業で苦しめられている。イスラエル占領者はパレスチナ人を追放する民族浄化を行っているのだ。この戦いは占領者の計画にあらゆる手段を使って抵抗する必要がある持久戦で、我々は不屈の精神を発揮しなければならない。国連安保理でガザ停戦決議案にまたもや米国が拒否権を発動したのは嘆かわしい。犠牲を覚悟でミサイル発射を続けているイエメンの兄弟に敬意をささげる。

*レバノン・メディア：ベイルートの南部郊外がイスラエル無人機の攻撃を受けた。

*イスラエル・メディア：今回のベイルート南部郊外への攻撃は停戦以来最大のものとなる。イスラエル北部の防空システムは警戒態勢にされ、イスラエル無人機が頻繁にベイルート上空を飛び、イスラエル北部の住民にはイスラエル民間防衛隊の指示に従えと勧告された。

*カン：スモトリッチ財務大臣は数億ドル規模のガザへの救援物資の搬送を政府に提案した。政府筋の話では、スモトリッチは安全保障上の必要でそうすると言ったという。

*イスラエル軍：イスラエル軍は、砲撃するのでレバノンのハダト、ハレット・フレイク、ブルジ・アル・バラジネの建物から避難せよという命令を出した。

*カン：イスラエル軍は来月超正統派ユダヤ教徒5万人に徴兵命令を出す。

*カン：治安当局高官が、ガザのイスラエルに協力する分子¹に武器、装具、資金を送ったと述べた。これは、軍のハイ・レベルからの指示で、軍に同行するシン・ベト将校の指揮で動く武装集団に軍が武器を提供することで、この種の活動は諜報部やシン・ベトの要請でガザ回廊各地で行われている。

6月5日 9:06 pm

*パレスチナ・クロニクル：ナクサと呼ばれる1967年戦争から58年経ち、パレスチナ人は1967年戦争をイスラエルの占領を深化させ、パレスチナ人の帰還と解放の戦いを更新させた第二の大量トランスファーと見ている。

6月5日 8:53 pm

*パレスチナ・クロニクル：国連のファクリ特別報道官はアル・ジャジーラのインタビューで、安保理決議と同じように国際法には拘束力があり、安保理が決議できなかった場合は、国連総会が決議を実施する権限があると、力説した。

6月5日 8:46 pm

*チャンネル12：ヨルダン渓谷地区で2人の入植者が投石を受けて怪我をした。

*イスラエル・メディア：ベザレル・スモトリッチ財務大臣は、占領地西岸地区の民政部職員に西岸地区のイスラエル国主権確立に向けた活動を開始せよと指示したと述べた。

*アル・ジャジーラ：ナセル総合病院の医療関係者の報告によると、ハーン・ユーニス西のアル・アマル地区へのイスラエル無人機攻撃で、3人のパレスチナ人が死亡した。イスラエル戦闘機がハーン・ユーニス北にあるハマド市の住宅を爆撃し、またガザ港の漁船を爆撃した。

*国連事務総長報道官：イスラエル当局がガザへの人道支援調整を妨害した。今日当局はガザへ入るトラックをたった20台に制限した。これはイスラエルが定めた数で、人々が必要としている量とは無関係である。すべての通路を開けて援助物資が滞りなく届くようにすることを要望した。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は「ハマスに対抗する部族集団を利用することのどこが悪いのだ。それがイスラエル兵の命を救うのだ」と言って、リーベルマンがネタニヤフがISISとつながりがある武装集団に武器提供したことを非難したのを、そんな情報を公けにするのはハマスへの利敵行為だと非難した。首相は「私は気にしない」と言った。

¹ ISIS と関係すると噂される武装集団。

*イスラエル・メディア：野党指導者ラピッドは、ネタニヤフはガザのISISと繋がりがああるギャング集団に数百万ドルを供与し、武器供与も開始したと非難した。彼は、これは衝撃的で、計画性がない動きで、将来その武器がイスラエルに向けられる可能性があると言った。

*チャンネル12：元国防大臣のヨアブ・ガラントは、ネタニヤフは国の安全よりは自分の連立内閣の安全を優先していると言った。

*イスラエル・メディア：イスラエル軍の軍曹が、8か月前にガザの戦闘で負った重傷のために死亡した。

*イスラエル・メディア：イスラエル・ベイテイスラエル党首のアヴィグドール・リーベルマンは、ガザの武装ギャングに武器を供与する決定を「安全保障上の過失」と呼び、すぐに政府交代を要求した。彼はISISに類似した一族や部族に武器をやれば、その武器がやがてイスラエルに向けられることになる警告した。

*アル・カッサム旅団：我々はハーン・ユーニス南のキザン・アンナジャール地区のウナム・ハビーバ・モスク近くで「敵兵の集結」を迫撃砲で攻撃した。

6月5日 6:05 pm

*アトランティック誌：元モサド長官のタミール・パルドは、ガザ戦争には終わりが見えないと言い、「無益で何も達成していない」と述べた。彼はこの戦争を時間と、命と、金と未来の浪費だと述べ、戦争よりも人質返還交渉を優先すべきという彼の持論を繰り返した。

*アル・ジャジーラ：「自由の船団」連合のメンバーがアル・ジャジーラの取材で、我々は今マドリーン号を追跡した無人機が何処のもので何が目的なのかを調べている。我々は脅威を警戒し、もし攻撃されたら船から離れるかもしれない。イスラエルには国際水域やパレスチナ領への管轄権はない。国際司法裁判所の判決はいかなる国や団体もガザへの援助物資搬入を妨害することを禁止している。イスラエルは前の自由の船団のメンバーを逮捕したが、我々はイスラエルの脅威をおそれていない。ガザ封鎖を突破するためにカイロとチュニスから、陸路と海路でガザへ向けて2便が出発する予定である。

*パレスチナ・クロニクル：超正統派ユダヤ教徒の兵役免除を保証する法律の成立がぐずぐずしているため、連立政権の2党が議会解散に向いつつある。この動きは回避されるかもしれないが、ネタニヤフの指導力の低下は避けられない。ロバート・インラケシュの最新論文を読みたい。[\(Robert Inlakesh, "Political Earthquake in Israel: The Collapse of Netanyahu's Government Grows Closer?", Palestine Chronicle, June 5, 2025\)](#)

*アル・カッサム旅団：我々はハーン・ユーニスのマアン地区のムルタジャ交差点近くで敵に巨大な軍用ブルドーザーをアル・ヤッシン105砲で攻撃した。

*ハマス声明：リーベルマン発言は危険な真実を暴露している。占領軍がガザ回廊内の犯罪者集団に武器を与えて治安と社会の混乱を起こそうとしている事実を。犯罪グループへの武器供与と飢饉製造と人道支援物資の組織的窃盗は占領軍の汚い戦略である。

6月5日 5:30 pm

*パレスチナ・クロニクル：今日、元国防大臣のアヴィグドール・リーベルマンはイスラエルが封鎖されたガザ回廊の「犯罪集団」に武器を与えていると言った。「イスラエルは攻撃用ライフルや軽兵器をガザの犯罪集団に供与した」と、右翼政党イスラエル・ベイテイスラエル党のリーベルマン党首が、イスラエル公共放送カンで語ったと、トルコのアナドル通信社が報道した。彼は武器供与はネタニヤフ首相の命令で行われたと言った。

*アル・ジャジーラ：ナセル総合病院の医療関係者の報告によると、ハーン・ユーニス南西のバトゥン・アッサミン地区へのイスラエル軍の砲撃で、子どもが1人死亡した。

*フランス・メディア：フランスのマクロン大統領は「現在協議中であるが、数日以内にイスラエルに対する表現を強化し具体的措置を講ずるかどうかを決定するであろう」と述べた。

*ドイツ・メディア：イスラエル外相ギデオン・サールはベルリンでドイツ外相と共同記者会見し、次のように主張した。「いくつかの欧州国が吹聴しているイスラエルへの圧力と制裁は事態を複雑化するだけだ。新たな援助物資配給システムはハマスを利することを排除するためだ。」

*ドイツのヨハン・ヴァーデフル外相：ガザに届いている援助物資は不十分で、私は前々から物資の円滑で十分なアクセスを求めてきた。援助物資は迅速にガザに届き、国連機関によって配給されなければならない。我々は西岸地区で強引に

進められている入植政策に反対する。中東で恒久的和平を達成する唯一の現実的な道は二国解決案である。しかし、パレスチナ国の一方的な承認は誤ったメッセージを送ることになる。ハマスは将来的にイスラエルの脅威にならないと思われる。ガザの未来についての計画を協議する必要がある。一部の欧州国が行っているイスラエルへの圧力と制裁は事態を複雑にするだけであろう。

*パレスチナ・クロニクル：ウォールストリート・ジャーナルの調査によって、USS トルーマン空母は第二次世界大戦以来最も激しい海軍戦闘で、3機のジェット機を失ったことが判明した。これは紅海のアンサールッラの船舶攻撃を封じ込めようとした作戦の中で生じたことで、米国は増大する戦費、作戦の逼迫、地域情勢の変化で苦しみ、イエメンと停戦に踏み切った。

6月5日 3:52 pm

*アル・ジャジーラ：ガザ保健省の代表はアル・ジャジーラの取材で次のように言った。「225人以上のジャーナリストが占領軍によって殺害された。占領軍はこれまでで16,000人を超える子どもとほぼ9,000人の女性を殺害した。占領軍は医療システムを標的にする攻撃を続けている。」

*ブラジルの大統領：パレスチナ国家を承認するのは道徳的な義務だ。ガザで起きているのは戦争ではなく、イスラエルが子どもと女性に行っている虐殺である。

*ヤイール・ゴラン民主党党首：ネタニヤフ首相は自分の政権を一日延ばすためにイスラエルの安全を売り渡しているのだ。ネタニヤフを一刻も早く意思決定の座から引きずり下ろすべきだ。ネタニヤフは合意に達して人質返還を実現するのではなく、ガザに時限爆弾を仕掛けているのだ。

*イスラエル軍ラジオ放送：イスラエルは武器を、ハマスから没収した軽火器も含めて、ヤセル・アブ・シャバブ民兵組織に渡した。アブ・シャバブ民兵はイスラエル軍が支配しているラファ東地域で活動している。彼らへの武器供与は治安当局と政治的指導部の発案である。

*アル・ジャジーラ：ナセル病院、アル・マムダニ病院、アッシーファ病院の医療筋の報告では、今日の明け方からのイスラエルの攻撃で、38人のパレスチナ人が死亡した。

*アル・ジャジーラ（医療筋を引用）：ガザ市西部のアッシファ通りの避難民へのイスラエル軍の攻撃で、パレスチナ人4人が死亡し、数人が負傷した。ハーン・ユニス東の町アバサン・アル・カビーラへのイスラエル無人機の攻撃でパレスチナ人1人が死亡した。ハーン・ユニス東のマアン地区へのイスラエル無人機の攻撃で、パレスチナ人2人が死亡した。ジャバリヤ難民のイスラエルの攻撃跡からパレスチナ人の3遺体が回収された。

*ガザ保健省：この24時間で我々は70人の死者と189人の負傷者を記録した。

*ハマス声明：アル・マムダニ病院に数人のジャーナリストの死体や負傷者が運び込まれたのは、シオニスト占領軍の犯罪を表している。彼らがジャーナリストを狙うのは、ジャーナリストの声を封じ、彼らの犯罪の証拠を隠滅する組織的な犯罪行為である。我々は国際社会にジャーナリストを保護し、ジャーナリストを殺害した占領軍の責任を問うことを要望する。

*イスラエル・メディア：イスラエル安全保障研究所は最新世論調査の結果を発表した。それによると、軍を信用する人は75%だが、政府を信用する人は21%だけであった。また、ガザ戦争の目的の達成は僅かか、まったく達成できないと思う人は48%であった。

6月5日 1:42 pm

*パレスチナ・クロニクル：今日明け方からのイスラエル軍の各所への空爆で、少なくとも23人のパレスチナ人が死亡した。犠牲者の中にはガザ市のアル・アハリ・バプティスト病院へのイスラエル軍の直接攻撃で死亡したジャーナリスト4人も含まれる。

6月5日 1:24 pm

² ヤセル・アブ・シャバブは30歳の軍閥指導者で不法な大量武器所有で投獄されていた犯罪者。40～50人の民兵を従えて、イスラエル軍に守られて国連の支援物資倉庫を襲って略奪し、闇市で売りさばいたり、イスラエル軍に代わって軍事行動を行ったりしている。彼はイスラエル軍との関わりを否定し、パレスチナ自治政府の指示で動いていると弁明した。

*世界食糧計画：ガザ回廊では70,000人以上の子どもが深刻な栄養失調状態にある。これ以上紛争がエスカレートすれば、救援活動がほぼ完全にストップするだろう。ガザへ流入する援助物資は量的にも種類のにも非常に不十分である。

*イスラエル・メディア：イスラエル・ベイテイス党のアヴィグドール・リーベルマンは、イスラエルの公的ラジオを通して、イスラエルはネタニヤフ首相の命令で、ガザ回廊の犯罪者集団に武器を供与したと発表した。彼は、この武器供与は安全保障閣議の承認を得ておらず、シン・ベト長官もそれを承知していたと付言した。彼は、これらの武器がやがてイスラエルへ向かって使われることになるかもしれないと述べた。

*アル・ジャジーラ：ガザ市のアル・アハリ・バプティスト病院の医療関係者は、イスラエルが同病院を砲撃した後、4人のジャーナリストが死亡したことを確認した。アル・ジャジーラ特派員は病院で戦争状況を取材していたジャーナリストをイスラエル無人機が直撃したと報道した。

*アル・ジャジーラ：アル・アハリ・バプティスト病院のファドル・ナウム院長は占領軍が病院を直撃し、3人が死亡したと述べた。これで同病院が攻撃されたのは8回目である。戦争開始からイスラエル軍は病院を標的にし、そのため多くの病院の機能がほぼ停止状態になった。

*アル・ジャジーラ：「自由の船団」のマドリーン号の情報筋によると、難民申請者を乗せた船からの遭難信号を受けて、マドリーン号は進路を変更した。これは国際法に従った行動で、難民申請者の船へ向かうだろう。

*アル・ジャジーラ：ナセル総合病院の医療関係者の報告によれば、ハーン・ユニス東の町バニ・スヘイラへのイスラエル無人機の攻撃で2人のパレスチナ人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍はアル・アハリ・バプティスト病院のジャーナリスト・グループを攻撃した。

*イスラエル軍ラジオ放送：ガザ回廊で軍が回収した二人の被拘束者の遺体は米国市民権を持っていた。その前に、ネタニヤフ首相はガザで人質の死体を回収したと発表していた。

*イスラエル・メディア：人質家族会は、ジュディとガディの遺体の回収はすべての人質を連れ戻すという国家の義務を改めて思い起こさせるものであると言った。彼らは、人質を生死にかかわらず全員を帰還させる合意を成立させるよう全力を尽くせと意思決定機関に求めた。

*アル・ジャジーラ：アッシーファ病院の医療筋の報告では、イスラエル軍のジャバリア・アル・バラドへの砲撃で2人が死亡、そのうち1人は妊婦であった。また、前のガザ市へのイスラエル軍の砲撃で重傷を負った子どもが死亡したことも報告した。

*アル・ジャジーラ：ナセル総合病院の医療関係者の報告によれば、ハーン・ユニス東のバニ・スヘイラへのイスラエル無人機の攻撃で、女性2人が死亡した。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相はハマスに捕らえられていた人質2人の遺体を回収したと発表した。ジュディとガディは10月7日攻撃で殺害されていたが、ガザに遺体として「拉致されていた」と、首相は述べた。首相は、生死に関わらず、人質全員が帰還するように努力を続けると言った。

6月5日 9:15am

*イスラエル・メディア：エルサレム・ポストが報じた軍情報によると、イスラエルはマドリーン号の活動家にガザに近づくなど直接警告するつもりである。活動家が警告を無視すれば、軍が船を拿捕し、活動家を拘束するかもしれない。象徴的な形で援助物資を積んだマドリーン号は、6月1日に、イスラエルのガザ封鎖を破る目的で、シシリーを出航した。

*アル・ジャジーラ：アル・マアムダニ病院の医療筋の報告によれば、ガザ市南のザイトゥーン地区の民家へのイスラエル軍の空爆で、3人のパレスチナ人が死亡し、数人が負傷した。

*Walla：ガザ前線の予備役将校は「ハマスが24時間体制で我々に関する情報を収集する活動を行っている」とみんなが思っている。ハマスは遠隔監視、双眼鏡、ドローンを使って情報収集を行っている」と言った。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍が西岸地区ナブルス東のバラタ難民キャンプを襲撃したとき、爆発音が聞こえ、イスラエルの偵察機が飛行していた。

*CNN: CNNは調査で、ラファの援助物資を待っているパレスチナ人群衆にイスラエル軍が発砲したのは事実だと確認した。CNNは元米軍将校の「発射速度はイスラエル軍が使用している機関銃と同じ発射速度だ」という言葉を引用した。

6月5日 7:21am

*カン：イスラエル治安当局は、ガザ封鎖を破る前例となることを避けるために、マドリーン号をガザに近づけさせない決定をした。国防大臣は船の問題を協議し、船と乗客をどうするかを決定する予定である。考えられるシナリオは、船のガザへの入港を阻止し、活動家を逮捕することである。

6月5日 7：19am

*米国・メディア（アル・ジャジーラを引用）：CNN の調査ではイスラエル軍がラファの援助物資配給センターへ行こうとしているパレスチナ人群衆を銃撃したことが確認された。CNN は、発射速度がイスラエル軍の機関銃の発射速度と一致するという元米軍人の証言を引用した。

6月5日 5：00am

*パレスチナ・メディア：現在イスラエル軍車両がガザ市東部に激しい発砲を行っている。

6月5日 4：04am

*マルコ・ルビオ国務長官声明：米国は引き続きイスラエルを支持する。我々は安保理でガザ停戦決議案に拒否権行使した。何故なら決議案はハマスを利し、外交努力を損なうからである。我々は不当にハマスとイスラエルを同一視し、イスラエルの自衛権を無視するいかなる行動も支持しない。国連による行動はハマスを明確に非難し、ハマスに武装解除とガザからの撤退を求めるものでなければならない。